



平成20年11月5日

各 位

会 社 名 東 洋 紡 績 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 坂 元 龍 三
(コード番号 3101 東証、大証一部)
問 合 せ 先 財 務 経 理 部 長 榎 原 誠 慈
(TEL. 06-6348-3091)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成20年8月25日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期通期 連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日) (単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	400,000	20,000	15,000	1,000	円 銭 1 43
今 回 修 正 予 想 (B)	410,000	20,000	15,000	△ 5,000	△ 7 16
増 減 額 (B-A)	10,000	—	—	△ 6,000	—
増 減 率 (%)	2.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	431,417	27,075	21,049	4,698	6 73

2. 修正の理由

今後の事業環境につきましては、世界的な金融危機と景気後退懸念による需要低迷などにより、予断を許さない一段と厳しい状況が続くものと予想されます。

当社グループにおいては、包装フィルム、“ダイニーマ”、エアバッグ、メディカル、環境関連事業などに対する需要は底堅く推移しており、また、価格転嫁効果、経費削減などにより、当連結会計年度後半は、当第2四半期連結累計期間並みの営業利益、経常利益を確保できる見込みですが、当期純利益につきましては、事業環境の急速な悪化に対応して、アクリル繊維などの事業構造改革を追加実施する(当第2四半期連結累計期間において、特別損失=構造改善関係費を10,685百万円計上しております。)ため、平成20年8月25日発表の業績予想から下方修正いたします。

なお、当期純利益の減少は、当期を仕上げの年と位置づけている事業構造改革に伴う損失など、一時的な要因によるため、平成21年3月期の配当は、前回発表どおり1株当たり5円を予定しております。

(注) 上記連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上